

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 5 5 号	
件 名	B R T計画をリセットして，現在運行中の連節バスをやめて普通バスに切りかえ，今後の新たな連節バス購入・導入をやめて，新潟市の1兆円の借金を減らすことを求めることについて	
要 旨	<p>昨年9月5日に開業した新バスシステムB R T計画はトラブル続きの幕あけとなってしまい，政令市新潟として不名誉な結果となりました。</p> <p>開業5カ月の経過を見るに，定時性，速達性，利便性，経済性が確保できず，これまでも今後何をしても見かけ上の効果にとどまり，これまでどおり費用対効果は全てマイナスとなることが予想されます。</p> <p>昨年11月24日，火曜日に行った連節バスの乗車人数調査結果は以下です。</p> <p>①新潟駅発，連節バス全28便，全乗車人数422人，1便当たり15.07人。</p> <p>②各便の中での最大乗車人数は43人，快速バスは多くの空気を運んでいます。</p> <p>(参考) 最大乗車人数，連節バス115人，一般バス63人。</p> <p>この結果，連節バスの必要性がないことが数字で証明されています。</p> <p>視点を変えて，新潟市には1兆円もの借金があります。利息抜きで考えて，毎年100億円返したとして100年もかかる，返せる保証がないとも思われる莫大な借金です。</p> <p>開業した新バスシステムB R T計画は，連節バスに頼らず普通バスの運行で十分に機能を果たせます。</p> <p>昨年11月の市長選挙では，B R T白紙撤回候補とB R T中止候補が64%を得票した民意が示されています。</p> <p style="text-align: right;">(裏面につづく)</p>	
付 託 年月日 委員会	平成28年3月1日	第1項 } 第4項 } 環境建設常任委員会
受 理	平成28年2月25日	第689号

なおかつ、運転手が行う車椅子乗客の乗りおり介護には5分から6分くらいを要すること、さらに高速道路を走らないことから、BRTがバス高速輸送システムの名称に値しないことがわかります。

それで12月議会に陳情しましたが、不採択となりました。

しかし、市民の多くからこの陳情は当たり前のことと、支持をいただきます。

よって、議会に以下を求める陳情をします。

記

- 1 現状の連節バスの使用をやめて普通バスだけの運行にすること。
- 2 今後さらに連節バスを購入、導入することなく現状のまま新バスシステムを進め、新潟市の借金を減らす努力をすること。
- 3 普通バスの運行で、今後萬代橋と東大通の中央分離帯を撤去するなどして、専用レーン工事や道路改良工事を行わず、税金の無駄遣いをしないこと。
- 4 BRTバス高速輸送システムの名称をやめて、ただの萬代橋ラインとすること。